

## ■マンションの環境を目視で点検！

設備や建物の点検は実施していますが、共用部分の整理整頓の状態や美観については、点検する機会はあまりないかもしれません。いつも目にしている人にとっては当たり前の光景でも、はじめて来た人には、「散らかっている」「薄暗い」「活気がない」という印象を与えてしまっているかもしれません。ぜひこの機会に、ご自身のマンションの美観状況をチェックしてみましょう。



### チェックポイント

#### エントランス

- ✓ 玄関周りはきれいに清掃されていますか。ごみなどは落ちていませんか。
- ✓ 掲示物はきれいに貼られていますか。わかりやすく書かれていますか。期限が切れたものがいつまでも貼ってありませんか。
- ✓ 集合郵便受けの周りに、チラシなどが散乱していませんか。チラシを捨てるためのごみ箱がいっぱいになっていませんか。

#### 植栽

- ✓ 共用スペースにある木が枯れている、伸び放題、雑草が生い茂ってはいませんか。

#### 駐輪場

- ✓ 自転車置場に、きちんと自転車が停められていますか。勝手なところに停められていませんか。
- ✓ 不要な自転車が置かれたままになっていませんか(シールが貼られていない又は壊れた自転車の放置)。

#### 共用廊下

- ✓ 廊下に物が置かれていませんか。
- ✓ ごみが落ちていたり、泥などで汚れたりしていませんか。

#### エレベーター、階段

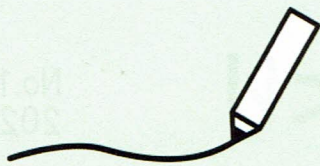
- ✓ エレベーターの養生シートが剥がれたり、汚れたりしていませんか。
- ✓ 階段の踊り場などに、ゴミやものが置かれていませんか。

#### その他

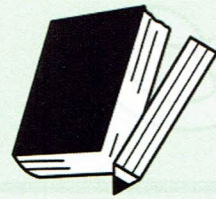
- ✓ 外からマンションを眺めた際に、ベランダに物置が置いてあったり、避難経路を塞いだりしている住戸はありませんか。
- ✓ 鉄部の錆、壁の汚れがありませんか。



お住まいのマンションが「不健康」なマンションだと思われないように、また、住んでいる人が気持ちよく暮らし、互いを思いやる気持ちが湧いてくるような環境を整えていきましょう。



# お役立ち情報

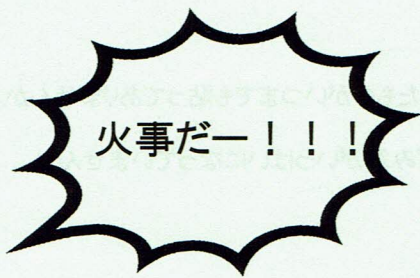


これから寒くなる季節に、暖房器具の使用頻度も高まります。お部屋で突然火災が発生したら…その時に落ち着いた行動が取れるよう、初期消火の手順と避難するタイミングについて確認しておきましょう。

## 初期消火と避難のタイミング

初期消火とは、火災による被害を最小限に食い止めるための消火活動です。初期消火のタイミングは一般的に**火が天井または、自分の身長以上まで燃え広がっていない状態**で、住宅火災の場合、**出火後 2～3 分以内**とされています。

### ①大声で知らせる。



「ご近所に知られたくない」「恥ずかしい」という咄嗟の意識は捨てなければいけません。

### ②119 番通報・初期消火



近隣へ通報を依頼するか、近くに二人以上の人がいる場合は 119 番通報と初期消火を手分けして行います。

### ③避難



天井に火が届いてしまったら、消火を諦めてただちに避難行動を開始してください。

**<避難時の心得>** 延焼を防ぐために、燃えている部屋のドアや窓を閉めて迅速に避難します。持ち出す物にこだわらずできるだけ早く逃げましょう。共用廊下に出たら、非常通報ボタン(火災報知)を押して火災を全住戸に知らせてください。非常階段で地上へ避難します。この時、煙の流れに注意。非常階段に煙が充満していたら別の避難ルートを選択します。そして、一旦避難したら絶対中に戻ってはいけません。

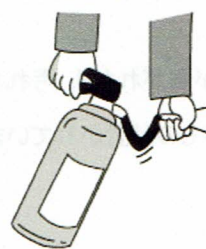
## ■消火器の使い方

- ①燃えている物に近づき(およそ 3～5m)、黄色の安全ピンを上引き抜きます。
- ②ホースをはずして、火元に向けます。
- ③レバーを強くにぎり、放射します。

安全ピンを抜く



ホースを外して火元を狙って



レバーを強く握って放射



\*ご自宅にある消火器が取り出しやすい場所に保管されているか、改めてご確認ください。キッチンなどの火事起きやすい場所での保管は危険ですとお勧めできません。

